

厚生労働科学研究費補助金

がん対策推進総合研究事業

患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した
高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、
及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

(令和)5年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 藤森 麻衣子

(令和)5 (2024)年 3月

厚生労働科学研究費補助金研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告

患者・市民参画を推進しビッグデータを 活用した高齢がん患者の在宅療養環境の 実態と課題の把握、及び高齢がん患者の フォローアップ体制の構築に資する研究	藤森 麻衣子 -----	3
--	--------------	---

II. 分担研究報告

1. 医療保険ビッグデータを活用した、 高齢がんサバイバーの在宅療養・ フォローアップ体制に関する実態調査	研究分担者全員 -----	4
2. 高齢がんサバイバーの在宅療養・ フォローアップ体制に関する <u>スコーピングレビュー</u>	研究分担者全員 -----	5
3. 高齢がんサバイバーの在宅療養・ フォローアップ体制に関する <u>アンケート調査</u>	研究分担者全員 -----	7

III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	9
---------------------	-------	---

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
総括研究報告書

患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と
課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

研究代表者 藤森 麻衣子 国立がん研究センター がん対策研究所
サバイバーシップ研究部 支持・緩和・心のケア研究室 室長

研究要旨

2023年度～2024年度に高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制の実態把握、課題点の抽出のため、医療保険ビッグデータ解析、スコーピングレビュー、アンケート調査、インタビュー調査を実施し、2025年度に患者・市民・多職種専門家グループによる対応策の提言、および日本版「高齢がんサバイバーシップケアプラン」の開発を行う。その結果、がん診療連携拠点病院等（以下、拠点病院）を中心とした各医療圏で個別に実装可能な対応策の提言が可能となり、高齢がんサバイバーが望んだ場所で適切な医療・ケアを受けられる。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

安藤 雄一 名古屋大学医学部附属病院
化学療法部 教授
小寺 泰弘 名古屋大学大学院医学系研究科
消化器外科学 教授
長島 文夫 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授
津端 由佳里 島根大学医学部附属病院
呼吸器・化学療法内科 講師
梅垣 宏行 国立大学法人東海国立大学機構
名古屋大学 未来社会創造機構(医) 教授
山本 寛 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療
センター 呼吸器内科 部長
山中 崇 東京大学医学部附属病院 特任教授
寺田 智祐 京都大学医学部附属病院 教授
鈴木 美穂 慶應義塾大学看護医療学部 教授
島津 太一 国立がん研究センター がん対策研究所
行動科学研究部 室長
松岡 歩 国立がん研究センター がん対策研究所
サバイバーシップ研究部 研究員
内富 庸介 国立がん研究センター がん対策研究
所 サバイバーシップ研究部 部長

A. 研究目的

高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ
体制の実態把握、課題点の抽出を行い、患者・市民・
多職種専門家グループによる提言、および支援資
材開発につなげること

B. 研究方法

2023年度は、研究①医療保険ビッグデータ解析、
研究②スコーピングレビューを実施し、研究③拠
点病院、地域包括支援センター等へのアンケート
調査のため、日本の高齢がんサバイバーにおける
「連携」の課題について先行研究を整理し、アンケ
ート項目の準備を行った。
(倫理面への配慮)

研究①②③ともに「人を対象とする生命科学・医学
系研究に関する倫理指針」の対象外

C. 研究結果

研究①医療保険ビッグデータ解析については、2つ
の仮説を設定し変数を定義したうえで、(株)DeSCへ
ルスカアの保有する保険者データのad hoc解析中
である。研究②については、高齢がんサバイバーに
おける併存症の生存アウトカムへの影響について
スコーピングレビューを実施した。研究③につい
ては、高齢がんサバイバーにおける「連携」の課題
について先行研究を整理し、アンケート項目を作
成中である。

D. 考察

現時点では、研究①はデータ解析中、研究③はアン
ケート作成中であるため、考察は困難である。研究
②では、国内外の研究のレビューから、高齢がんサ
バイバーにおける併存症マネジメントの重要性が
改めて示唆された。

E. 結論

これらの結果に基づいて、最終年度の提言・支援資
材作成を行う予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

研究 1 医療保険ビッグデータを活用した、高齢がんサバイバーの
在宅療養・フォローアップ体制・に関する実態調査

研究分担者 名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授 安藤 雄一
研究分担者 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授 小寺 泰弘
研究分担者 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授 長島 文夫
研究分担者 島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 講師 津端 由佳里
研究分担者 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構(医) 教授 梅垣 宏行
研究分担者 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科 部長 山本 寛
研究分担者 東京大学医学部附属病院 特任教授 山中 崇
研究分担者 京都大学医学部附属病院 教授 寺田 智祐
研究分担者 慶應義塾大学看護医療学部 教授 鈴木 美穂
研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所 行動科学研究部 室長 島津 太一
研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 研究員 松岡歩
研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 部長 内富庸介

研究要旨

国内の高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制の実態把握のため、(株)DeSC ヘルスケアの保有する国民健康保険・後期高齢者医療制度の 800 万人分の保険者データを用いて、個人レベルでの医療状況を調査する。

A. 研究目的

国内の高齢がんサバイバーの在宅療養、がん治療に伴う晩期合併症、再発、二次がん、他の併存疾患等に対するフォローアップ体制の実態を把握すること

B. 研究方法

(株)DeSCヘルスケアの保有する800万人分の国民健康保険・後期高齢者医療制度の保険者データを用いて、個人レベルでの医療利用を調査する。2014年4月から2023年3月までのデータを使用する。

（倫理面への配慮）

完全匿名加工情報を用いるため「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の対象外

C. 研究結果

令和 5 年度第 1 回班会議での意見を踏まえて、2023 年度は先行研究に基づいて仮説を構築したうえでデータ解析に進む方針となった。国内外の先行研究を参考に、仮説①「がん手術における高齢者総合機能評価 (CGA) の有効性」、仮説②「高齢がん患者の終末期医療の質評価」の 2 つの仮説案を設定した。仮説①は高齢者のがん治療(手術)における CGA の短期・長期アウトカム (院内死亡、在院日数、再入院など) への影響を検討する予定である。仮説②は終末期医療の Quality Indicator (死亡する 30 日以内の新たな化学療法の開始、死亡する 14 日以内の化学療法、死亡する 1 か月以内の入院・ICU 入室・ER 受診、緩和ケアの実施の有無、死亡場所など) を用いて、高齢がん患者の終末期医療の質と関連要因を検討する予定である。専門家グループの助言を得ながら、ビッグデータ解析のための変数

を設定し、2023 年度末にデータ定義書を確定した。2024 年 5 月に Ad hoc 解析の結果が返却される予定である。2024 年度は、Ad hoc 解析の結果に基づいて、より詳細な分析を行っていく予定である。

D. 考察

現時点では、仮説①②ともにデータ定義書を提出し Ad hoc 解析の結果の受領まちであるため、考察は困難である。

E. 結論

2024 年度は Ad hoc 解析の結果に基づいて、より詳細な分析を行う予定である。この医療保険ビッグデータ解析の結果を、最終年度の患者・市民・多職種専門家による提言および支援資材開発のための参考資料とする。

F. 健康危険情報

該当なし (分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表
該当なし
2. 学会発表
該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

研究 2 高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制に関するスコーピングレビュー

研究分担者 名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授 安藤 雄一
 研究分担者 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授 小寺 泰弘
 研究分担者 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授 長島 文夫
 研究分担者 島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 講師 津端 由佳里
 研究分担者 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構(医) 教授 梅垣 宏行
 研究分担者 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科 部長 山本 寛
 研究分担者 東京大学医学部附属病院 特任教授 山中 崇
 研究分担者 京都大学医学部附属病院 教授 寺田 智祐
 研究分担者 慶應義塾大学看護医療学部 教授 鈴木 美穂
 研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所 行動科学研究部 室長 島津 太一
 研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 研究員 松岡歩
 研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 部長 内富庸介

研究要旨

高齢がんサバイバーの在宅療養、がん治療に伴う晩期合併症や再発・二次がん・その他の併存疾患等のフォローアップ体制について、国内外における現行施策や課題を網羅的に収集し科学的に整理するためスコーピングレビューを行う。

A. 研究目的

高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制に関する国内外における現行施策や課題を網羅的に収集し科学的に整理すること

B. 研究方法

「高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップにおいて、どのような連携がなされているか？」
 「高齢がんサバイバーのニーズは何か？」
 「国内外でどのような施策が実施されているか？」等のクリニカルクエスチョンについて、MEDLINE, PsycINFO, 医中誌などにおいて網羅的な文献収集を行い、抽出された課題をテーマ毎に整理する。抽出された課題や好事例は、研究③アンケート調査、研究④好事例へのインタビュー調査に反映させる。

（倫理面への配慮）

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に該当しない

C. 研究結果

高齢がんサバイバーの在宅療養、フォローアップについて、日本のがん診療連携拠点病院を中心として、どのような連携が行われているかを網羅的に収集し科学的に整理する方針であったが、予備調査の段階で、日本の「連携」に関する文献が英文・和文ともにほとんど存在せず、かつ日本と海外の医療システムの違いから、海外の文献レビューを行ったとしても海外のモデルをそのまま日本へ外挿するのは困難であると考えられた。そのため、一部方針を変更し、高齢がんサバイバーにおける併存症や、二次がん・晩期/後期合併症の患者アウトカムへの影響、フォローアップ体制の課題につい

て包括的にレビューする方針に変更した。

「高齢がんサバイバーのアウトカムに対して、併存症はどのような影響があるか？」というクリニカルクエスチョンについて、MEDLINE、医中誌による網羅的な文献収集を実施し、併存症とがんによる死亡（cancer-specific survival, disease-specific survival など）及びがん以外による死亡（overall survival, other-cause mortality など）の両方の生存アウトカムを評価している論文（日本は大規模コホート研究がなく後ろ向き観察研究を含めた 16 件、海外の大規模コホート研究 16 件）を抽出した。うち、併存症とがん以外による死亡に関連はあるが、併存症とがんによる死亡には関連がない論文は、日本で 11/16 件、海外で 3/16 件であった。

D. 考察

事前の仮説は「併存症のあるサバイバーは、がん以外が原因で亡くなる可能性が高い」というものであったが、仮説と一致する論文は、日本では 11/16 件であったのに対して、海外では 3/16 件と少なく、海外では併存症の影響で標準治療が受けられていない現状が示唆された。いずれにしても、高齢がんサバイバーにおいて併存症のマネジメントは重要であると考えられた。

E. 結論

高齢がんサバイバーにおける併存症マネジメントは重要である。拠点病院を中心とした各医療圏で、多職種が連携して併存症マネジメントを行う必要があると考えられる。

2024 年度は、がん治療に伴う晩期合併症、再発・

二次がんの患者アウトカムへの影響についても、
スコーピングレビューを実施予定である。

F. 健康危険情報

該当なし

(分担研究報告書には記入せずに、総括
研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

研究3 高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップ体制に関するアンケート調査

研究分担者 名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 教授 安藤 雄一
 研究分担者 名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授 小寺 泰弘
 研究分担者 杏林大学医学部腫瘍内科学 教授 長島 文夫
 研究分担者 島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 講師 津端 由佳里
 研究分担者 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構(医) 教授 梅垣 宏行
 研究分担者 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科 部長 山本 寛
 研究分担者 東京大学医学部附属病院 特任教授 山中 崇
 研究分担者 京都大学医学部附属病院 教授 寺田 智祐
 研究分担者 慶應義塾大学看護医療学部 教授 鈴木 美穂

研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所 行動科学研究部 室長 島津 太一
 研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 研究員 松岡歩
 研究分担者 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所サバイバーシップ研究部 部長 内富庸介

研究要旨

国内の高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップにおける「連携」の課題について、現場の医療従事者の視点から抽出するため、全国の拠点病院、かかりつけ医療機関、訪問診療医療機関（在宅医）、地域包括支援センター/居宅介護事業所などを対象にアンケート調査を行う。

A. 研究目的

高齢がんサバイバーの在宅療養・フォローアップにおける「連携」の課題について、現場の医療従事者の視点から抽出すること

B. 研究方法

拠点病院では、地域のかかりつけ医療機関との連携に「がん地域連携クリティカルパス（連携パス）」が要件となっていたが、有効性が疑問視されたため現在は要件から外されている。この「連携パス」について、高齢がん患者における活用状況、その実装の阻害・促進要因を重点的に調査する。また「緩和ケアパス」「パス以外の連携（ICTの活用など）」についても調査する予定である。対象は、拠点病院（全数）、かかりつけ医療機関（拠点病院からの紹介）、訪問診療医療機関（在宅医療連合学会会員）、地域包括支援センターまたは居宅介護事業所（拠点病院からの紹介・在宅医療連合学会会員からの紹介）の予定である。

（倫理面への配慮）

医療従事者への医療の質に関する調査となるため、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に該当しない

C. 研究結果

2023年度は、高齢がんサバイバーにおける「連携」の課題について、医中誌を用いて先行研究の文献レビューを行い、とくに「連携パス」の活用状況を中心に整理を行った。その結果に基づいて、専門家グループから意見を募り、第2回班会議において今後のアンケートの方向性についてディスカッションを行った。「連携パス」が形骸化して拠点病院の要件から外されることとなった原因を整理することは、今後の高齢がんサバイバーにおける「連携」

に必要な要素、阻害・促進要因を探索するのに重要であろうという結論であった。また、アンケート対象の候補についても相談し、在宅医療連合学会会員へのアンケートなど、学会との連携についても相談した。2024年度前半は「連携」における好事例、とくに「連携パス」「緩和ケアパス」「それ以外の連携（ICTの活用など）」についての好事例へのインタビュー調査（研究④）を先行させ、好事例における促進要因・阻害要因を整理したうえで、アンケート項目を作成し、2024年度後半にアンケートを実施する予定である。

D. 考察

2023年度はアンケート項目を作成するための準備として先行研究の整理を行った。「連携パス」が拠点病院の要件から外された現在だからこそ、高齢がんサバイバーにおける「連携パス」の活用状況、および阻害・促進要因について、現場の率直な意見が伺えると考えている。

E. 結論

全国の拠点病院、連携かかりつけ医療機関、在宅医療連合学会会員、拠点病院または在宅医療連合学会会員から紹介された地域包括支援センターまたは居宅介護事業所を対象に、「連携パス」「緩和ケアパス」「それ以外の連携（ICTの活用）」の実態および課題について2024年度後半にアンケート調査を実施する予定である。

F. 健康危険情報

該当なし

(分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入)

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

該当なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中釜 斉

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん政策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) がん対策研究所 サバイバーシップ研究部 支持・緩和・心のケア研究室・室長

(氏名・フリガナ) 藤森 麻衣子・フジモリ マイコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

- (留意事項)
- ・該当する□にチェックを入れること。
 - ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中 釜 齊

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) がん対策研究所 サバイバーシップ研究部・研究員

(氏名・フリガナ) 松岡 歩・マツオカ アユム

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 中 釜 齊

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん政策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) がん対策研究所 行動科学研究部・室長
(氏名・フリガナ) 島津 太一・シマヅ タイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 国立研究開発法人国立がん研究センター

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 中釜 斉

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) がん対策研究所 サバイバーシップ研究部・部長

(氏名・フリガナ) 内富 庸介・ウチトミ ヨウスケ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 杏林大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 渡邊 卓

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部腫瘍内科学・教授(氏名・フリガナ) 長島 文夫 ナガシマ フミオ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 京都大学医学部附属病院

所属研究機関長 職 名 病院長

氏 名 高折 晃史

次の職員の（令和）5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 薬剤部・教授

(氏名・フリガナ) 寺田 智祐・テラダ トモヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職 名 塾長

氏 名 伊藤 公平

次の職員の（令和）5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 看護医療学部・教授

（氏名・フリガナ） 鈴木 美穂 スズキ ミホ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

所属研究機関長 職 名 センター長

氏 名 許 俊 鋭

次の職員の（令和）5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 呼吸器内科・部長

(氏名・フリガナ) 山本 寛 ヤマモト ヒロシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 島根大学医学部附属病院

所属研究機関長 職 名 病院長

氏 名 椎名 浩昭

次の職員の（令和）5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名（所属部署・職名） 呼吸器・化学療法内科・講師

（氏名・フリガナ） 津端 由佳里・ツバタ ユカリ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) 殿

機関名 東京大学医学部附属病院

所属研究機関長 職名 病院長

氏名 田中 栄

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 在宅医療学・特任教授

(氏名・フリガナ) 山中 崇・ヤマナカ タカシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 名古屋大学医学部附属病院

所属研究機関長 職名 病院長

氏名 小寺 泰弘

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 化学療法部・教授

(氏名・フリガナ) 安藤 雄一・アンドウ・ユウイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長)— 殿
—(国立保健医療科学院長)—

機関名 名古屋大学大学院

所属研究機関長 職名 総長

氏名 杉山 直

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学系研究科 消化器外科学・教授

(氏名・フリガナ) 小寺 泰弘・コデラ ヤスヒロ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年04月01日

厚生労働大臣
—(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
—(国立保健医療科学院長) 殿

機関名 名古屋大学

所属研究機関長 職名 総長

氏名 杉山 直

次の職員の(令和)5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業

2. 研究課題名 患者・市民参画を推進しビッグデータを活用した高齢がん患者の在宅療養環境の実態と課題の把握、及び高齢がん患者のフォローアップ体制の構築に資する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 未来社会創造機構(医)・教授

(氏名・フリガナ) 梅垣 宏行・ウメガキ ヒロユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項) _____

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。